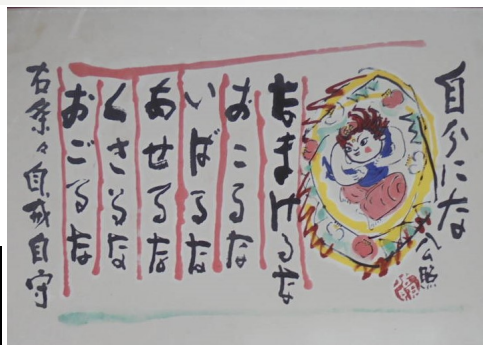
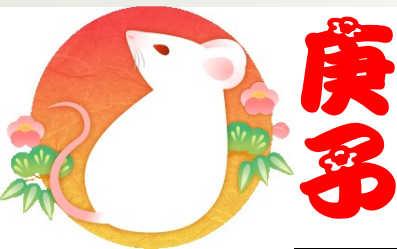


山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

令和2年庚子 住職年頭挨拶



令和2年

仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈祷・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/8 大般若会/大施食会
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会
- 京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日) 第39回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- 10月 檀信徒研修旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週金曜日 華道教室
- ※毎月1回土曜日 ヨガ教室

「自分にな まけるな おこるな
いばるな あせるな くさるな
おこるな 右条々 自戒自守 清水公照」

明けまして、おめでとうございます。
奈良東大寺住職 故清水公照長老の「自戒の語」であり、当山でも額装され掲示しております。三歳の子供でも解っていても、百歳の大人でも守り実践していくことは大変難しい。

避けて通れない苦難があっても、雨に洗われ、風に磨かれるが如く、毎日一步、毎日一步、我が道を歩く。他に行く道はなし。他人と比べず、元気と希望をもって、一筋の光明を求めて、自分を励ましなが、最後まで歩くなり。

御本尊様のご加護が、限りなく皆様に降り注がれますことを祈念申し上げます。合掌

曹洞宗静岡県第四
宗務所主催檀信徒
研修旅行にて挨拶
をする仁叟寺住職

令和二年 年 回 表

一周忌	平成三十一年 令和元年	二十三回忌	平成十年
三回忌	平成三十年	二十七回忌	平成六年
七回忌	平成二十六年	三十三回忌	昭和六十三年
十三回忌	平成二十年	五十回忌	昭和四十六年
十七回忌	平成十六年	百回忌	大正十年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。
(但し、五十回忌・百回忌を除く)

様々な団体による参禅会、参拝研修会の報告

昨年も仁叟寺では多くの団体、組織による参禅会、研修会をつとめさせていただきました。特にモミジが色づく秋には多くの参詣者が見えられ、10月31日には曹洞宗静岡県第四宗務所主催の檀信徒研修旅行の皆様方、御寺院様30名、檀信徒100名、計130名をお迎えいたしました。「曹洞宗仁叟寺と2つの世界遺産を巡る旅」と題し、大型バス3台で来ていただき、当山では山内は勿論、総代人の皆様と共に歓待をさせていただきました。

また恒例の夏休みの行事で、小学校3年生～6年生を対象とした仁叟寺子供禅の集いも昨年で38回を数え、更に群馬県曹洞宗青年会主催の恒例行事、第57回群馬緑蔭禅の集いの会場となり、多くの方々が当山にて禅に親しんでいただきました。

春秋に恒例となり行われております群馬県緑化推進委員会主催の巨木巡りツアーでは、主に三大銘木（県指定天然記念物カヤの木、市指定天然記念物モクの木、市指定保存樹五輪櫻）のほか、山内外を案内をしております。また世界記憶遺産に指定された上野三碑の一つ多胡碑関連の史跡、仏像や建築に代表される多くの歴史的価値のある当山所蔵の文化財等の拜観。その他、講演会や法話会も随時開催されております。

また去年は台風や災害の影響等もあり、残念ながら中止となりました参禅会、研修会もございました。

当山に団体での拜観をご希望される場合は、事前に日時や人数等の打ち合わせをお願いしております。宜しくお願いいたします。



㊤静岡県第四宗務所団参風景

㊦静岡県第四宗務所団参拜登諷経



参禅研修会の様子

日程	団体名	人数
3月7日	藤岡市青年経営者協議会 参禅研修	15名
3月26日	高崎市下小鳥町公民館長寿会 研修旅行	15名
4月7日	群馬県緑化推進委員会 巨木巡りツアー	40名
5月29日	新潟県観音寺 檀信徒研修旅行	30名
6月9日	高崎市大類歴史研究会 研修旅行	30名
6月11日	多胡小学校 遠足(小学1、2年生)	15名
6月22～23日	群馬県青年会 第57回群馬緑蔭禅の集い	90名
8月1～2日	第38回仁叟寺子供禅の集い	40名
8月9日	前橋市きよさと学童クラブ 参禅研修	45名
10月20日	群馬県緑化推進委員会 巨木巡りツアー	40名
10月31日	静岡県第四宗務所 檀信徒研修旅行	130名
11月9日	上野三碑の会 研修旅行	40名
11月17日	吉井小学校区 あるけあるけ大会	90名
11月25日	群馬県宗務所布教部 第24回禅をきく会	300名

仁叟寺檀信徒研修参拝旅行～仁叟寺の末山を巡る旅～

令和元年10月27日、仁叟寺恒例の参拝研修旅行が、檀信徒の皆様始め41名のご参加をいただき、盛大に行われました。先ず始めに、武田氏縁の古刹で仁叟寺四世が開山いたしました甘楽町天引の友月山向陽寺に伺いました。織田澤智幸住職及び東堂様のご案内をいただき、寺院の内外のご説明を賜りました。

続いて仁叟寺副住職が住職をつとめます慈雲山松田院龍源寺を訪れました。お詣りをし、住職よりご案内とご説明を頂きました。台風等の災害を受け、多くの墓石塔に被害があり、言葉もありませんでした。一日も早い復旧を祈念いたします。

長野県佐久市内にて信州郷土料理の昼食をいただき、望月宿に移動。近代書道の父、比田井天来記念館を拝観し、その後に仁叟寺住職の次男渡辺俊司師が住職をつとめられている金峰山信永禅院に伺いました。ご接待を受け、記念写真の撮影後、お詣りし、住職より院内のご案内とご説明をいただきました。信永院の総代様始め役員の皆様方と懇談することも出来ました。

最後に真田昌幸公によって築かれ、大河ドラマの舞台にもなった上田城を訪問。案内ガイドの説明を受け、全旅程を終了し、帰路に就きました。

同研修旅行は仁叟寺住職の宗務所長退任に伴い、4年振りに当山主催にて開催されました。本年も秋に行われる予定ですので、奮ってのご参加をお願いいたします。



寄稿・三木和夫総代人



向陽寺本堂にて甘楽町文化財の龍天井画を説明する織田澤住職

高崎市指定避難所・仁叟寺にて地区避難訓練

去る8月18日、高崎市吉井町第13区の自主防災組織が中心となりまして、高崎市指定避難所であります当山にて地域防災避難訓練を実施いたしました。第13区のほか地元多胡小校区の皆様、消防団、行政、警察署、仁叟寺総代人等、およそ60名が集い、防災避難訓練を開催いたしました。

本堂での研修は関口正樹第13区長が司会をつとめ、住職、行政担当者、総代長等による防災備災等についてのお話をいただきました。引き続き、地元消防団



本堂にて挨拶・講話

及び消防署より消火器を使った消火訓練と仁叟寺にも設置しております



山門下にて行ったAED装置講習会

AED装置の訓練を行いました。最後に、東日本大震災被災地にて振る舞った事のあるカキ氷を参加者皆さんで召し上がっていただき、保存備蓄が出来る食品の配布を行いました。関口区長を中心に、関係各位にはお世話になりました。天候もよく、盛会に地域の避難訓練が多くの組織団体企業等のご協力のもと、今回も実施することが出来ましたことに感謝しております。

仁叟寺ヨガ教室 開講

昨年秋より、仁叟寺ヨガ教室を開催しております。記念すべき第1回目となった10月12日土曜日は、台風19号直撃となり残念ながら中止となりました。第2回目となる11月9日土曜日が初日となりまして、お陰様で老若男女30名を超える方々が集い、盛会裏につとめることができました。また第2回目は12月14日土曜日となり、同じく盛會に仁叟寺ヨガ教室が圓成出来ました。講師のMinami先生には、初心者が多く、懇切丁寧なご指導を賜わり、有難うございました。

ヨガは仏教と同じくインドが発祥であり、坐禅ともつながるところがあります。また性別年齢を問わず、健康作りにも大きな効果があります。

本年も引続き仁叟寺ヨガ教室を、下記のと通りの日程で午後4時から予定しております。老若男女、ヨガ経験問わず参加することが出来ます。費用は1回500円で、講習時間はおよそ45分ほど。持参品はバスタオル（ヨガマットも可）1枚で、ヨガに適した服装にて仁叟寺までお越しただければと思います。本年の予定は以下のとおりですが、当山及び講師の予定で変更になる場合もございます。詳細は仁叟寺までお問い合わせください。

令和2年 仁叟寺ヨガ教室 予定

1月25日 土曜日 午後4時～

2月22日 土曜日 午後4時～

3月21日 土曜日 午後4時～



仁叟寺 ヨガ Jinsouji Yoga

本年は毎週第2土曜日夕方4時開式予定

第1回 午後4時より
令和元年 10月12日(土曜日)

第2回 午後4時より
令和元年 11月9日(土曜日)

第3回 午後4時より
令和元年 12月14日(土曜日)

受講定納金 500円
入会金無料、初心者歓迎、権限外での参加も可能です。

服装 ヨガに適した服装
(スカートなどはご注意ください)

時間 約45分

持参品 バスタオル1枚

講師 minami 先生

会場 仁叟寺

駐車場 100台可能
(第1～第4駐車場をご利用ください)

講師紹介 minami
群馬県在住 ダンサー/ヨガ講師

【経歴】
プロダンサーとして講師やメディアのお仕事など第一線で活躍する日々の中で、心の不調を感じ、メンタルケアとしてヨガと出会った。
それが自己肯定や生き生きとした気持ちになり、今は大人から子供までの身体も豊かに過ごせるためライフスタイルをヨガで豊かにしたい、という思いで身体表現をしています。

2007年～ダンサーとして活動開始。講師やメディア、舞台などに出演。
2018年～ヨガ講師として活動開始。
・全米ヨガアライアンス200時間終了
・ヨガニードラー指導者資格取得
・YOGA&D、キッズヨガ指導者資格取得

お問い合わせ先
仁叟寺 -じんそうじ-
〒370-2123 群馬県高崎市吉井町神保 1295
電話: 027-387-3080 FAX: 027-387-8766
e-mail: jinsouji@dan.wind.ne.jp
URL: http://www.jinsouji.net/



仁叟寺ヨガ教室チラシと第1回目の様子

群馬県宗務所布教部「第24回禅をきく会」修行

紅葉映える11月25日、曹洞宗群馬県宗務所布教部主催「第24回禅をきく会」が仁叟寺を会場に修行されました。講師は栃木県明林寺住職西田正法老師で、「かたよらない心」と題し、ご法話を賜りました。

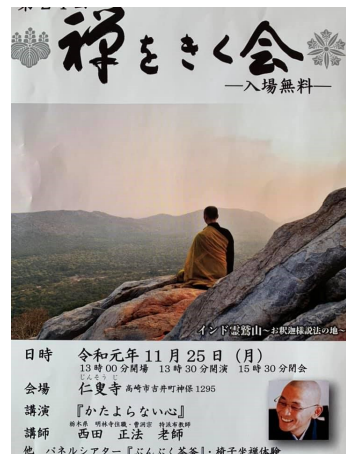
始めに喜美候部正令宗務所長老師、会場主当山仁叟寺住職、布教部長堪山泰賢老師よりご挨拶いただき、布教部員手作りのパネルシアター「ぶんぶん茶釜」の披露。椅子坐禅を行じた後、ご法話となりました。禅に触れるよき時間を、堂内いっぱい溢れんばかりの聴衆の皆様方と布



教部員、合計およそ300人の方々と共におつとめさせていただきました。

その後、当山総代会世話人会も欣光閣にて開かれました。ご参集いただきました皆様、特に引き続きの会議にもご臨席くださいました総代人世話人さん、有難うございました。

本堂内いっぱい溢れんばかりの聴衆



禅をきく会
—入場無料—

日時 令和元年 11月25日(月)
13時00分開場 13時30分開演 15時30分開会

会場 仁叟寺 高崎市吉井町神保 1295

講演 『かたよらない心』
前住僧 明林寺住職、曹洞宗 持法者 西田 正法 老師

講師 西田 正法 老師
他 パネルシアター『ぶんぶん茶釜』・椅子坐禅体験

禅をきく会ポスター

高崎市里山元気再生事業報告

㊤奉仕役員集合写真（8月11日）

㊦奉仕役員集合写真（7月7日）



仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々のご協力をもって行っております高崎市の補助事業、里山元気再生事業が一昨年度末で期間満了となりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラおよそ300株を植樹し、参道脇に多くの山野草や福寿草を植栽いたしました。また昨年は同作業に合わせて、向井敏昭総代人様よりシカ除けのポールとロープのセットをご寄進いただき、設置いたしました。モミジ若木の樹皮や新芽はシカの好物であり、シカ害に悩まされておりましたが、お蔭様で以降の被害は皆無であります。

市補助事業は既に終了いたしました。引き続き仁叟寺総代会役員会等に併せ、昨年も6月～8月の第一日曜日の計3回に亘り、奉仕作業を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等の作業を地元の方々と共に行い、汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳も多数遺されており、また山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。里山再生に相応しい「もみじ山歴史古墳公園」に向けた整備が、着々と進められております。引き続きのご理解ご協力、宜しくお願い申し上げます。

自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



㊤慰慰供養と語り部研修会（新祥寺様本堂）
㊦ボランティア作業風景（南相馬市小高区）

去る11月14～15日に掛けて、東日本大震災被災地域である福島県に伺って参りました。本年も恒例となった物故者慰霊法要を南相馬市新祥寺様本堂に於いて修行。奉仕作業を、副住職ほか群馬県曹洞宗青年会有志と福島県曹洞宗青年会合計12名で、被災地域である南相馬市小高地区にてつとめさせていただきました。今回も南相馬市の新祥寺野田精顕住職を窓口、慰霊及び語り部研修会、作業を行いました。語り部研修では、震災当時に避難所開設及び運営に携わった元南相馬市職員の片平様を迎え、当時の貴重なお話しを伺いました。有難うございました。ほか南相馬市小高区の除草と撤去作業等を福島県群馬県両県青年会員が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

早いもので本年3月11日で、丸9年が経過いたします。風化させることなく、出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも協力をさせていただければと考えております。

総代長新年挨拶

新年明けましておめでとうございます

昨年は仁叟寺の行事について皆様のご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。

特に仁叟寺里山の草刈り整備等、何度もご苦勞いただき、モミジ・桜・山野草も成長してきました。もう少し皆様のご協力を頂戴できれば、素晴らしい里山になると思われます。

さて、私事で恐縮ですが、昨年5月に群馬県宗務所護持会長を退任いたしました。無事引退できたことは、所長をお勤めされた仁叟寺住職のご支援ご協力のお蔭と感謝申し上げます。

次に昨年の台風15号、19号は、今迄に受けた事のない暴風雨、河川の氾濫等で大変な被害を被りました。特に千葉県を中心とする関東地方から東北地方にかけて、痛ましい様子がテレビ等で放映され、自分の事と考えると居ても立っても居られない思いがしました。これは天災ではありますが、温暖化の影響がもたらした人災とも思われます。皆さんと共に、世界中で温暖化の問題を早急に考える必要があるかと思います。

また昨年10月31日、「曹洞宗仁叟寺と2つの世界遺産巡り」と題して、静岡県第四宗務所の方々、和尚様30名、檀信徒100名、合計130名が大型バス3台で見えられ、研修会を行いました。住職は、群馬県宗務所の所長経験を活かし、総代人と共に鄭重にお迎え申し上げます。全員が本尊様に焼香され、本堂に着席し、般若心經

をお唱えし、お勤めをしていただき、その後仁叟寺住職のご法話となりました。仁叟寺は開基奥平氏から始まり、奥平氏は徳川家康の長女亀姫を迎えたこと、また高崎市で一番指定重要文化財を多く所蔵する寺院であること、檀信徒の多大な協力を仰ぎ文化財である仏像等の修復がなされたこと、群馬県初となる寺院の公的指定避難所の開設、里山再生事業としてモミジ・桜・山野草を地域の方々と協力し取り組んでいること等々を判り易く丁寧にお話し下さいました。

ありがとうございました。本年も宜しくお願い申し上げます。合掌

筆者・矢島正義 総代長
前群馬県宗務所護持会長



に叟寺総代人一同

矢島正義	新井徳衛	篠崎和男
森久	神保堯男	酒井範明
向井敏昭	三木和夫	齋藤悦男

檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡を下さいますよう、お願いいたします。

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は平成最後となる4月29日に、ご本寺仁叟寺住職を導師に拜し自坊・龍源寺新本堂の落慶法要を果たすことが出来ました。

しかしながら台風19号の記録的な豪雨で、当山裏山に人為的に投棄された木材や土砂が崩れ、墓所に大きな被害が出ました。不幸中の幸いか、人的被害及び建物被害はありませんでしたが、一日も早い復旧の為、関係各位と共にしっかりと歩みを進めております。また御見舞や激励を頂きましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。合掌



龍源寺被災(10月12日)